



令和8年度総会開催 スローガンは

「共に支え合い安心して暮らせる御館山」



＜寺井 市社協会長 祝辞＞

4月27日(月)午後1時30分から栄田町公民館において、令和8年度御館山校区社会福祉協議会総会が開催されました。当日は、諫早市社会福祉協議会の寺井雄一会長をはじめ、多くの役員や理事、福祉協力員が参加しました。

主な議事内容は、令和7年度の事業・決算報告、および8年度の事業計画・予算案です。昨年度末には、8年度から12年度までの新たな「地域福祉活動計画(5カ年計画)」が策

定されました。策定にあたり実施した全世帯アンケート調査から、地区の現状や課題、校区社協の認知度や期待する活動が明らかになりました。今後、この計画に則って地域福祉の向上に努めます。

また、嬉しいお知らせとして、今年度より新たに「西部台大さこ町自治会」が本協議会に加入され、昨年総会後に加入された「西部台大さこ町第二自治会」と共に地域のつながりの輪がさらに広がりました。なお、新役員の方々は以下のとおりです。

- *副会長 柴崎悠久雄さん(西栄田町自治会 会長)
 畠中 公道さん(西部台大さこ町自治会 会長)
 山野 裕智さん(西部台大さこ町第二自治会 会長)
- *理事 川瀬 定幸さん(五日会改め老人クラブ「永昌会」 会長)
 三宅 直人さん(民生・児童委員)、中川 秀子さん(同)
 緒方由紀子さん(同)、山口 了さん(同)

*福祉協力員 蒔添登茂子さん(永昌東町)、鹿摩 督子さん(西栄田町)＜福祉協力員へ委嘱状交付＞



令和7年度収支決算

収入の部

前年度繰り越し	301,255
社協会費	302,640(120円×5町2,522世帯)
市社協助成金	936,480(運営費、活動費)
その他	687(預金利息)
合 計	1,621,062



支出の部

会議費・総会費	27,370(地区社協会長会議他)
事業費・報酬費	969,626(いきいきサロン他)
負担金	252,200(市社協へ)
慶弔費	15,000(地区行事お祝い金等)
事務・通信費	43,649(会議資料インク代等)
交通費	1,000(研修会時)
合 計	1,308,845
次年度繰り越し	312,217

令和8年度収支予算

収入の部

前年度繰り越し	312,217
社協会費	323,280(120円×6町2,694世帯)
市社協助成金	900,540(運営費、活動費)
その他	1,463(寄付金・預金利息)
合 計	1,537,500

支出の部

会議費・総会費	55,000(地区会長会議他)
事業費・報酬費	1,041,700(いきいきサロン他)
負担金	269,400(市社協へ)
慶弔費	40,000
事務・通信費	25,000
交通費・雑費	15,000(研修会時)
予備費	91,400
合 計	1,537,500



特集！ 御館山校区の交通安全事情…

御館山校区は、保育園や幼稚園、小・中・高校・特別支援学校・大学など教育機関がたくさんあり、住宅地も増えて、交通量が大変多くなっています。児童・生徒の登下校が安心・安全に行われるよう地域の方や学校関係者が横断歩道を中心に見守り活動をされています。また、国や県の交通安全運動期間中(4月、7月、9月、12月)は、保護者や交通安全協会の方も安全指導をされています。

破籠井町老人会の方々が交替で見守りをされています

川原さん
西柴田町

地域の見守りボランティアさんがたくさん立ってくださっています。ありがとうございます。

明峰中の岡野校長先生、御館山小の中路校長先生、岡本副校長先生、そして、鎮西学院高校の野球部の皆さんも、各学校の正門付近で見守りをしてくださっています。

運転者の皆様のご協力のおかげで、子どもたちが安全に登下校できます。これからも安全運転をお願いします。

運転者の方へお願いです

- ・狭い道や横断歩道の近くでは、スピードを緩めてください。
- ・信号機のない横断歩道では、歩行者を優先して止まってください。

歩行者へのお願いです

- ・グリーンベルトや白線の中を歩きましょう。
- ・広がったり遊んだりしないで歩きましょう。
- ・横断歩道では左右を確認し、運転者に分かるように手を挙げ、車が止まったことを確認してから渡りましょう。

毎朝、児童・生徒の皆様と交わすあいさつが、いつも私を元気づけてくれます。

特に気をつけてほしい危険箇所

○明峰中学校前交差点

直進、右折、左折の車が多く路線バスや自転車も通ります。子どもたちは白線内を歩いていますが、少しでもはみ出したら車と接触しそうな状態です。(上の地図で★の箇所)

○栄田町交差点～鎮西学院高校前 (上の地図で――)

道幅が狭く、時間によっては路線バスも通ります。歩行者用のグリーンベルトも狭いです。

○永昌ブックマート横～宮崎商店前～小鳥居病院～御小南門近くの三叉路 (――)

道幅が狭く、平日7時から8時まで車両は一方通行ですが、逆走してくる車が見受けられます。自転車もこの区間は、乗らずに押して通らなければなりません。

○元 愛真歯科付近～宮崎商店横駐車場 (――)

特に道幅が狭く、平日7時から8時までは「歩行者専用道路」になっていて車両は通ることができません。(この区間の住民のみ、警察で許可証を取得しての通行になります。)

○御館山小学校、及び鎮西学院高校正門前の横断歩道 (上の地図で★の2箇所)

御館山小学校前をスピードを上げて走る車が多く、鎮西学院高校前の混雑は大変危険です。

* 平日の午前7時から8時の間、通学路は「スクールゾーン」です。

制限速度は、30km/hのところほとんどですので守ってください。

地域ボランティアの方の顔写真は、承諾いただいた方々を掲載しています。

学校との連携

コミュニティ・スクールとは？

御館山小学校、明峰中学校ともに、今年度から、新しく「コミュニティ・スクール」に変わりました。これは、一言でいうと「地域のみんなで作る学校」です。

これまでは学校の中だけで決めていた教育方針を、これからは保護者や地域のみなさんの代表が「学校運営協議会」というチームを通して、一緒に話し合っていて決めていきます。

「子どもたちのために、地域でこんな活動がしたい」「学校をこうサポートしたい」という温かい声をカタチにする仕組みでもあります。地域の皆さまのアイデアや経験が、子どもたちの未来を輝かせます。地域みんなで、子どもたちを育てていきましょう！

今年度、御館山小に着任された中路知恵校長先生にご挨拶も兼ねて子どもたちや地域への思いを寄稿していただきました。

「豊かなつながりが支えるみたちっ子の笑顔」

御館山小学校 校長 中路 知恵

いつも温かい御支援をいただき、心より感謝申し上げます。748名のみたちっ子は、毎日いろんなことに挑戦しながら、すくすくと育っています。人と人とのつながりが何よりの支えとなるこれからの時代、大人が総がかりで子供たちを育てていくことが大切だと考えています。

日々、皆様がかけてくださる「いってらっしゃい」の一言、「どうしたの？」という優しい声かけは、みたちっ子の心を強くする最高のお守りです。この温かな地域こそが、みたちっ子がすこやかに育つ最高の環境であると実感しております。

「自分は大切にされている」という安心感に包まれ、しなやかに成長し、地域を愛する人に育ててほしいと願います。学校と地域が共に歩むパートナーとして、これからも、みたちっ子を温かく見守っていただければ幸いです。



シリーズ

わが町の元気さん 第5回

西部台大さこ町第二の一ノ瀬久美子さん(82歳)です！



自宅前の土手を3年かけて美しい花壇へと生まれ変わらせた一ノ瀬久美子さん。毎朝の水やりや街路樹・ツツジの剪定は、今や生活のリズムそのものです。富川町からご主人と終の住処を求めて移り住んだのは8年前。ご主人との新しい生活は叶いませんでしたが、「主人が選んでくれたこの場所を綺麗に守りたい」との思いから、雑草が生い茂る土手に目を向けました。学生時代は農業を学び、富川町ではみかん農家を営まれていたので、道具の扱いは手慣れたもの。「土手くらい切り開けるよ」と明るく挑戦。今では誰もが足を止める美しい景色が広がっています。



花壇の手入れをしていると、下校中の学生や近所の若いお母さんたちとの会話が弾みます。「若い人と話すと元気をもらえる。皆が通る場所だから綺麗にしておきたい」と語る言葉には、地域への深い愛情がにじみます。最近では娘婿からプレゼントされた充電式の道具を使い、少し離れた街路樹の剪定まで手を伸ばしているそう。また、料理も好きで、3月に開催された「明峰中ウォーク」では、朝早くから明教寺での豚汁の炊き出しに参加。「人とのふれあいがとても楽しかった」と嬉しそうに振り返っておられます。

そんな一ノ瀬さんのもう一つの趣味が、プロ野球のキャップ集め。棚には球団ごとに綺麗なキャップがずらりと並びます。また、お子さんやお孫さんたちと北海道や京都へ旅行する時は、いつも亡きご主人の写真をバッグに忍ばせ、一緒に旅を楽しまれている

そうです。お話を聞いている私たちまで温かく幸せな気持ちになるほど、一ノ瀬さんの暮らしには「好き」が沢山詰まっています。これからもパワフルで素敵な笑顔が、この町に元気な彩りを広げていくくれそうです。



*このコーナーでご紹介できる方を募集します！御館山校区在住の方、自薦・他薦どちらでも結構ですが、他薦の場合は、ご本人の承諾が条件です。永昌町公民館(26-3803)までお知らせください。



栄田町「男の料理教室」 出口ボランティア表彰受賞！



令和8年1月22日、「第20回諫早市福祉大会」において、栄田町食生活改善推進員（食改さん、30代から90代・10名）が標記を受賞しました。今回で2度目の受賞です。

「男の料理教室」は「食生活における男性の自立支援」と「男女共同参画社会づくり」、「会員相互の親睦融和」を図るため、栄田町公民館自主講座として平成9年2月から始めました。

毎月1回、午前中、栄田町公民館で実施しています。食改さん

からの料理のいろはを学びながら、熱心なご指導のもと、和気あいあいと地産地消で旬の食材を使った料理はもちろん、正月料理や郷土料理にも挑戦しています。1時間半ほどの調理の後はお楽しみの試食会です。さすがに自分たちで作った料理は格別で、あっという間に完食です。「男の料理教室」では広く興味と関心を持っていただくために、年に2回、会員以外の方の参加も受け入れています。今年度は7月と10月です。

これからも、食改さんと会員がアイデアを出し合い、地域に愛される持続可能な料理教室を目指していきます。



町独自の「ひとり暮らし高齢者の集い」開催

西栄田町自治会長 柴 崎 悠久雄

6月16日(火)の午前11時から午後1時30分まで、西栄田町自治会では、75歳以上を対象とした第2回「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催しました。自治会役員をはじめ、北部地域包括支援センター職員、民生委員、福祉協力員、有志の皆さんの協力により、10名の方が参加しました。

今回は、加齢に伴い心身の機能が低下する「フレイル（虚弱）」をテーマに、まず、包括支援センター職員による映像を交えたフレイル予防の説明と健康体操を行い、その後は和やかな雰囲気の中で会食を楽しみました。アトラクションでは、大正琴の演奏に合わせて全員で「みかんの花咲く丘」を元気よく合唱しました。

最後の懇談では、日常生活や医療・介護に関する悩みや困り事を語り合い、支援者の助言や参加者同士の交流を通して、笑顔あふれるひとときとなりました。改めて、高齢者のフレイル予防の大切さを実感する一日となりました。



情報掲示板

◇栄田町では例年8月に「夏祭り」を開催していましたが、近年の猛暑を考慮し、今年から「栄田町祭り」として、10月17日(土)に栄田公園で開催されます。

◇永昌町の「夏祭り」は例年どおり8月22日(土)、永昌町公民館前広場で行われます。

◇西栄田町の運動会は、10月18日(日)に明峰中運動場にて開催されます。

＊いずれも多数ご参加ください。

編集後記

御館山小は、この15年間で児童数が約1.6倍、市内最大規模校となりました。校区の道路事情は変わらないまま、人口が増え、交通量も増加しています。今回、児童・生徒の登下校時の安全確保のため、危険箇所や交通規制をマップにまとめました。子どもたちの命を守り「共に支え合い安心して暮らせる御館山」を目指しましょう。自宅付近やウォーキング中などに登下校の子どもたちの見守り、声かけをしていただければ幸いです。

今回も取材や寄稿にご協力いただき、ありがとうございます。ご感想や地域の情報など気軽にお知らせください。

広報部：村田 博、道越貴代美、木戸 祥子、中川 秀子、松藤 千鶴、川原みゆき、土居 美香

連絡先：事務局 永昌町公民館 TEL 26-3803